

より安全・快適な輸送サービスを目指して

平成23年度 鉄道事業設備投資計画

投資額89億円

京成電鉄（本社：東京都墨田区、社長：花田 力）では、平成23年度に鉄道事業で89億円の設備投資を実施し、安全輸送の確保やお客様サービスの向上に努めてまいります。

今年度は、鉄道施設の耐震補強や法面補強等を計画的に実施し、東日本大震災や昨今の集中豪雨などの自然災害への対策を図ります。加えて、列車運行用電力をより安定的に供給するため、一部の変電所設備更新を行います。その他、安全対策の強化として、押上線の連続立体化工事やデジタルATS（自動列車停止装置）への更新工事を今年度も引き続き行います。また、お客様サービスの更なる向上を目指し、スカイライナー予約におけるチケットレスサービスのスマートフォン対応化や、駅トイレのリニューアル等を実施し、より安全・快適にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

平成23年度の鉄道事業設備投資計画の概要は次頁のとおりです。



押上線連続立体化工事写真

平成23年度 鉄道事業設備投資計画について

1. 投資額 89億円

2. 概要

(1) 安全対策の強化

①災害対策の推進

東日本大震災や昨今の集中豪雨などの自然災害への対策強化を図るため、駅部や高架橋の耐震補強工事を実施するほか、軌道の整備や法面の補強等を計画的に実施します。今年度は、震災により被害を受けた鉄道施設の復旧工事や、町屋駅、千住大橋駅、京成千葉駅の駅部及び日暮里～青砥間の一部高架橋において耐震補強を進めます。

②押上線連続立体化工事の推進

- ・墨田区内連続立体化工事（押上～八広間1.5km）
上り線の仮線への切替え、高架橋新設工事等を実施します。
- ・葛飾区内連続立体化工事（四ツ木～青砥間2.2km）
用地買収等を実施し、事業の推進を図ります。

③ATS（自動列車停止装置）の機能向上

列車の安全運行をより確実なものとするため、今年度も引き続き、より保安度の高いデジタルATSへの更新を進めます。なお、今年度は八千代台～空港第2ビル間において供用開始を予定しています。

④駅構内の安全対策の強化

ホームからの転落事故への対策として、今年度も引き続き非常通報ボタン装置を5駅に設置します。

⑤踏切の安全対策の強化

踏切事故を未然に防止するため、自動障害物検知装置の更新（2箇所）、踏切支障報知装置の新設（9箇所）等を実施します。

⑥変電所設備機器の更新

列車運行用の電力をより安定的に供給するため、一部の変電所設備機器を更新します。

(2) サービスの向上

①駅トイレリニューアル

駅を快適にご利用頂くため、駅トイレのリニューアルを行います（2駅）。

②行先案内表示設備更新

行先案内表示設備を、わかりやすい新型タイプに更新します（2駅）。

③自動券売機・自動改札機の更新

老朽化が進んでいる一部の自動券売機の更新・幅広型自動改札機の設置を行います。

④ 駅構内触地図の設置

目の不自由なお客様にも安心して駅をご利用いただけるよう、駅構内触地図を3駅に設置します。

⑤ 駅構内店舗の新設・更新

駅の利便性を向上するため、駅構内店舗の新設・更新を行います。

⑥ スマートフォン対応化

スカイライナー予約のチケットレスサービスについて、スマートフォン対応を開始します。

(3) 環境対策等

環境にやさしいクーラーへの交換推進

車両のクーラーの冷媒として使用しているフロンについて、オゾン層を破壊しない代替フロンへの交換を実施します。

以上